

北京・「北海道大学デイズ」報告

北海道大学は3月8日(土)、9日(日)の両日、中国北京市にて「北海道大学デイズ」と称するイベントを、本学との大学間交流協定校である北京科技大学を会場として開催致しました。北海道大学をPRし優秀な留学生の受入れ拡大を目指すもので、佐伯総長、本堂理事・副学長、鈴木北京オフィス所長ほか8学部・研究科などから約25名の教職員・学生が出席致しました。

8日朝の開会式には、徐金梧北京科技大学長、道上尚史在中国日本大使館公使をはじめ、中国・日本の大学関係者、本学同窓生、中国各大学の学生など約200名が出席しました。席上、佐伯総長は本学の歴史、教育理念などを紹介した後「今後も中国との交流を重視し奨学金などの留学環境を整え、より多くの留学生に来てもらえるよう努力していきたい」と述べました。

また、開会式に続いて鈴木所長、各研究科等による説明会が行われたほか、午後は北大生によるキャンパスライフの発表と、本学教員、本学に留学経験のある中国の大学教員らによるパネルディスカッションが行われ、北大で行われた研究指導やその後の研究がどのように発展したかを話し合い、北大の研究の特徴、若手研究者の育成についてアピールしました。

9日の午前には、留学個別相談会が行われ、参加した8つの学部・研究科などのブースに中国各大学の学生約50名が熱心に訪れ、「北海道大学デイズに参加して、北大の魅力を深く知り、ぜひ北大へ留学したいと決心しました」などの感想がありました。

本グローバルCOEプログラムからも事務局の下川部雅英と宮浦研のポスドク：于曉強(Xiao-Qiang Yu)君がこの北海道大学デイズに参加し、9日午前の個別相談会において、留学希望者に対してアジア連携大学院を広くアピールして参りました。

訪れた学生の大部分は学部生でしたが、周恩来元首相が卒業した南開大学や北京科技大学から参加した、日本への留学を希望する学生が、熱心に質問しておりました。また、北大北京オフィスをはじめ、学内の他部局に対して本プログラムが推進する、アジア連携大学院の存在と意義を広くアピールできたと考えております。



北大デイズ会場：北京科技大学會議センター



留学個別相談会：GCOE のブースにて



開会式で挨拶される佐伯浩総長



留学個別相談会 会場風景



各部局のパネル展：於：會議センター玄関ホール



アジア連携大学院の中国語ポスター（于曉強 訳）